

2019 年度 第 2 回 7 月 難関大記述模試地理 B 採点基準

1 単答記述問題

- ① 誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。
- ② 漢字で書くべき用語（例：扇状地）をひらがなで書いてある場合は 0 点。
- ③ 日本の地名（例：茨城県）については漢字で正確に書かれていなければ 0 点。
- ④ 中国・韓国の地名（例：ペキン（北京））については，漢字・カタカナのいずれかで正しく書かれていれば正解とする。
- ⑤ その他の地名や地理用語について，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスターンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては正解と認める。

2 論述問題

以下の設問別加点基準で加点（その他各問題の主旨に適した解答には，適宜加点。ただし，満点は越えない。）



以下の共通減点要素で減点

共通減点要素

- ① 加点要素に関わる誤字脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 字数オーバーは 0 点
- ③ 明らかに文章の構成が誤っている場合，論理が合わない場合などは 1 点減点。
- ④ 指定語句に下線をつける問題で，下線が引き忘れてある場合は 1 点減点。

（*減点しなくていい要素，その他の注意）

- ① 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ② 文章が未完のものは減点しない。
- ③ 以下の基準における加点項目は，内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

3 採点記号

1	<□□□□>	加点ポイント
2	□□□□x	事実に誤認あり
3	□□□□?	文意不明
4	□□✓□□	誤字あり／脱字あり

4 設問別加点要素

- 1) _____部分は必須キーワードであり、この表現がなければ加点しない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○/△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。

1

問1(1) 2点 国土地理院

問1(2) 2点 エ

問1(3) 3点

経緯度の基準を日本測地系から世界測地系に変更したから。

【加点ポイント】

- ・日本測地系から世界測地系に変更した
 - ・経緯度の基準を世界標準に合わせた
 - ・測量法が変更され、国際標準に合わせた
- 「日本独自」から「世界標準」へ変更したことがわかれば →3点

問2(1) 2点 キルビメーター/キルビメータ/マップメジャー

問2(2) 2点 2万5000分の1(25000分の1が分かればよい) 「1/25000」なども○

問2(3) 3点 1900m

問3(1) 2点 老人ホーム

問3(2) 2点 イ

問4(1) 3点 自然堤防

問4(2) 4点

比較的高燥で水害が起きにくい一方で崖下の湧水を利用できるが、がけ崩れや土石流の被害を受けやすい。

【加点ポイント】

- ①(立地条件として)水害が起きにくい/川から離れていて洪水の被害が少ない
/崖下で水利が良い/湧水を利用できる/湧水帯がある →2点
- ②(自然災害について)がけ崩れ/山崩れ/土砂崩れ/土砂災害/土石流 →2点

2

問1 各2点

1:労働生産性(「生産性」「土地生産性」→△1点) 2:アグリビジネス(「穀物メジャー」→×)

3:カンポ/カンポセラード/セラード 4:1000(「1000mm」→△1点) 5:温室効果ガス

問2 2点 ④

問3 2点 ③

問4 2点 エ

問5 2点 D

問6 5点 ★[指定語句] 灌漑施設 (下線不要)

1960年代の高収量品種の導入や灌漑施設の整備による二期作栽培が米の収量を急増させた。

【加点ポイント】

- ①(米の生産量の推移について)生産量が増加した/収量が急増した →1点
- ②(①の背景について)高収量品種の導入/緑の革命/品種改良で米が多く穫れるようになった →2点
- ③(①の背景について)灌漑施設の整備/灌漑施設の増加 →1点
- ④(①の背景について)二期作 →1点

問7 2点 ⑤

3

問1 記号 1点 い

問1 種類 2点 ずれる境界／すれ違う境界／横ずれ境界／トランスフォーム型境界

問2 2点 塩湖/塩水湖

問3 2点 ワジ/かれ川/涸れ川/涸谷/水無川

問4 2点 キ

問5 2点 タ

問6 3点 センターピボット方式/センターピボット (「センターピボット」などカナの間違い→×)

問7 4点 ★ [指定語句] 地下水 農地 (下線不要)

地下水枯渇の懸念から小麦栽培が規制され生産が減少したため、外国での農地取得などに投資し、輸入による安定供給を図っている。

【加点ポイント】

- ① (小麦生産減少の要因として) 地下水枯渇の懸念 / 地下水位が低下した
/ 地下水が減った / 地下水は有限である →2点
- ② (食料確保の方策として) 外国の農地取得 / 外国の農地で生産する →1点
- ③ (食料確保の方策として) 食料を輸入する →1点

問8 2点 フォガラ

問9 2点 液化天然ガス (「液化石油ガス」→×)

問10 3点 フ

4

問1 各2点

①: アタカマ砂漠 ②: ウユニ塩原/ウユニ塩湖/ウユニ湖 ③: ガラパゴス諸島

④: リャノ ⑤: マナオス/マナウス

問2 2点 エ

問3 5点 ★ [指定語句] コーヒー豆 工業化 (下線不要)

コーヒー豆の輸出の依存するモノカルチャー経済から脱却すべく、外国からの借金による工業化を進めたが、計画通りに返済できず累積債務となったため。

【加点ポイント】

- ① (対外債務の要因として) 工業化を進めた / 工業化に力をいれた / 工業化が進んでいなかった →2点
- ② (①のために) 外国から借金をした / 対外債務に頼った →1点
- ③ (以前の経済状況として) コーヒー豆の輸出に (国の経済が) 依存していた
/ コーヒー豆のモノカルチャー経済国であった
/ コーヒー豆の栽培と輸出が主な産業であった →2点

問4 各2点

(い): C (ろ): コロンビア (は): E (に): A